



REVERB

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Introduction

この度は、Empress Effects の Reverb をあなたのサウンドの一部に加えてくれたことに感謝しています。私たちはこのスタジオ・クオリティーの美しいリバーブを、そしてたくさんのクリエイティブなモードを開発するために、高い目標を掲げ、それを時間をかけて達成しました。あなたがこの Reverb を使用すれば、その多彩かつ、深みのある数々のトーンをすぐに発見できるはずです。

このペダルの開発にあたって、ユーザーが望むサウンドを最小の操作で素早く達成できることが、とても重要視されました。十分に用意された設定に関する様々なオプションは、あなた好みのサウンドに本機をカスタマイズすることができるでしょう。

もしこのマニュアルで不明な点があれば、モードごとに用意されているチュートリアル・ビデオを参照にしてください。動画で見ることが、いくつもの言葉を並べるよりわかりやすい事は多いものです。

また Empress Reverb のファームウェアは SD カード経由で簡単にアップデートすることができるよう設計されています。もし将来のファームウェアにご意見があれば、ぜひそれを聞かせてください！

さあ、音楽をクリエイティしましょう！



Jason Fee - Designer



Steve Bragg - Designer

電源について

9VDC 電源 (センターマイナス) で動作します。必ず **300mA 以上の AC アダプター** でご使用ください。

*本製品は独立した AC アダプタ (または完全アイソレートされたパワーサプライ) でご利用ください。

デジィチェーンケーブル (分岐ケーブル) でのご使用はできません。

Features

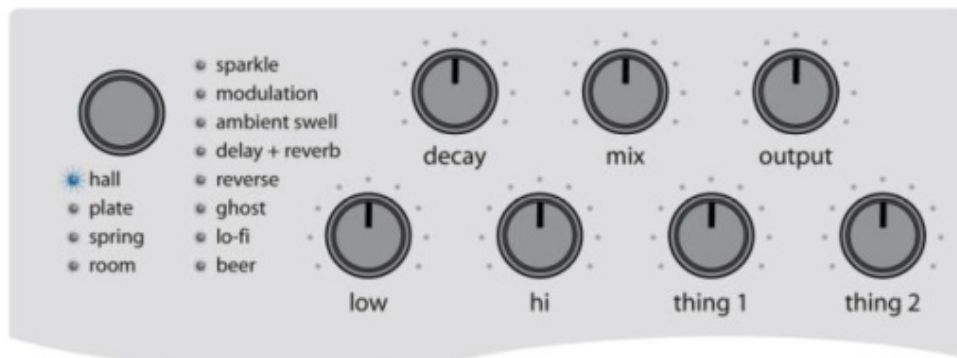
- **24 のスタジオ・クオリティのリバーブ・アルゴリズム** - 12 の優れたアルゴリズム・タイプを出荷時に搭載。各アルゴリズムには複数のバリエーションも追加。また SD カード経由のファームウェア・アップデートにより、新たなアルゴリズムを追加する事が可能。
- **ステレオ入出力** - フレキシブルな接続を可能にするステレオ仕様。ステレオイメージの調整や Wet/Dry 出力も可能。
- **最高品位の音質** - ホール、プレート、スプリング、ルームなどの定番リバーブ・サウンドを、目の覚めるような高品位サウンドで再現。
- **アンビエント・サウンド** - プレーヤーに新たなサウンド・スタイルを与えられる、クリエイティブで斬新、かつ極めて高い完成度のアンビエント系アルゴリズムを数多く搭載。
- **素早く希望のサウンドに到達できるデザイン** - 全てのアルゴリズム・コントロールは直観的にノブで操作が可能。多機能な製品にありがちなメニュー操作は一切なし。
- **HOLD 機能** - フットスイッチを押し続けているあいだ無限のサステーンを得られる HOLD 機能を搭載(モードによる)。リバーブドローンに合わせて新たなフレーズを重ねる事も可能。
- **ディレイ+リバーブ機能** - delay+reverb モードでは、タップテンポでディレイタイムの設定が可能。
- **ロー・ノイズ・シグナル・パス** - >104dB の優れた SN を達成。アナログ・ドライ・パスをピュアに保ちます。
- **最大 35 プリセット** - 各セッティングを最大 35 までプリセット。3 つのフットスイッチで各プリセットに素早くアクセス。
- **2 タイプの プリセット・モード** - バンク・スタイル、またはスクロール・スタイルが選択可能
- **トゥルー・バイパス、パッド・バイパス切替** - リバーブの残響を切り替えるためにトゥルーバイパスとパッド・バイパスを選択可能。
- **キャビネット・シミュレーター** - 3 タイプの優れたキャビネット・シミュレーター(Off/Bright4x12 cb/Dark Vintage cab/Balanced Modern cab) を搭載。アンプのない場合にライン出力でアンプサウンドを実現したり、レコーディングでも活躍。
- **出力トランスフォーマー** - 2 つのアンプを使用したステレオ・オペレーションでもハムノイズのない、プロフェッショナルな機材環境を実現。Output2 はトランスフォーマーによりアイソレートされ、グラウンドループを除去(設定で on/off 可)。
- **ハイクオリティ・オーディオ** - 32bit 内部演算処理を採用した、スタジオ・クオリティ 24bit/48kHz のプロセッシング採用。美しく繊細で、きめ細やかな高品位リバーブサウンドに貢献。
- **アナログ・ドライ・パス** - ドライ信号は 100%ピュアなまま、ウェット信号と VCA によりブレンド。音質劣化が皆無。
- **様々な外部コントロールと連携** - ユニバーサルなコントロール・ポートを装備。エクスプレッション・ペダルや外部タップスイッチ、外部オーディオ入力、コントロール・ボルトテージ(CV)、MIDI などを接続可能。
- **アドバンス設定メニュー** - アドバンス設定メニューでは、Reverb の様々な設定をモディファイ可能。バイパスモードやプリセット数、MIDI 設定、コントロールポート、キャビネット・シミュレート、入力 PAD、ノブ・ロック、出力トランスの有無など、あらゆる設定のモディファイが可能。
- **コンパクト・サイズ** - 多くの機能をパワフルに搭載しながらも、圧倒的な高音質設計を、コンパクトサイズ(14.5×9.5×4.5cm)の超コンパクトボディに凝縮。

Quick Start サンプル・セッティング

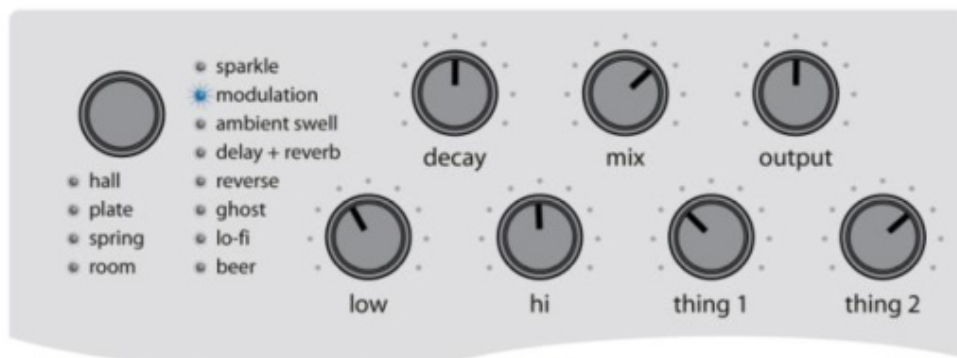
すべてのモードはノブを真ん中の 12 時くらいに設定した時が基本となるサウンドです。

その位置から希望のサウンドを探してみてください。

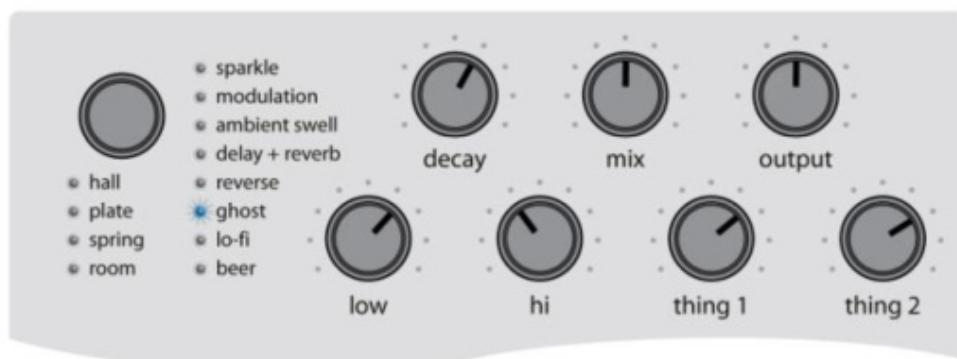
Concert Hall



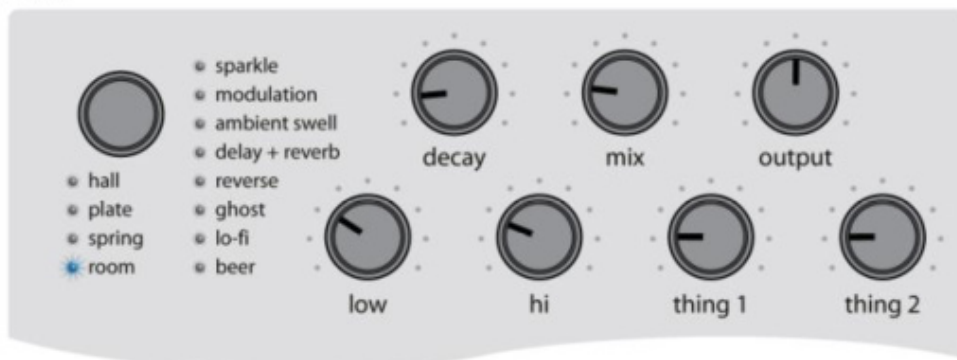
Modulated



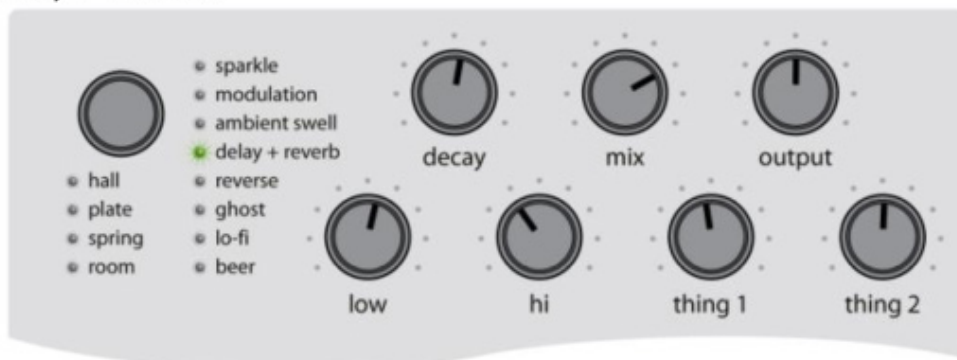
Ghost



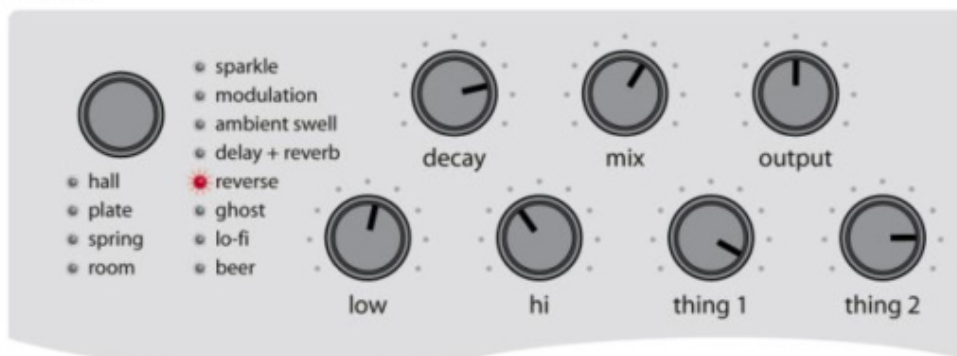
Room



Delay + Reverb



Reverse



モードのリファレンス・チャート

各モードは「MODE SELECTOR」を回すことで選択する事ができます。また LED の色によってもモードを識別可能です。各モードで、Thing1 と Thing2 の 2 つのノブに割り当てられる機能が変化します。“MODE REFERENCE CHART”では、本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表です。本機は PC からダウンロードしたあたらしいファームウェアを SD カード経由でアップデートし、新たなモードを加えられるよう設計されています。★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-echosystem-firmware.html>




Mode	モード詳細	Thing 1	Thing 2
Hall			
 Concert Hall (コンサートホール)	クラシックなホール・リバーブです。ウォームで美しい響きを再現。長く滑らかなディケイも特徴的です。	モジュレーション	アーリー・リフレクション・レベル
 Modern Hall (モダンホール)	より滑らかでウォームな質感を持つホールリバーブです。モジュレーション感が少なく落ち着いた響きです。	プリ・ディレイ・タイム	アーリー・リフレクション・レベル
Plate			
 Classic Plate (クラシックプレート)	ビンテージ・プレート・リバーブの響きを精巧に再現。短いディケイにも、長いディケイにもマッチします。	プリ・ディレイ・タイム	ブライト・アーリー・ディケイ
 Studio Plate (スタジオプレート)	スムーズで高品位なディケイとモジュレーション感の少なさが特徴。	プリ・ディレイ・タイム	アーリー・リフレクション・レベル
Spring			
 Bright Spring (ブライト・スプリング)	Fender Twin-Reverb のスプリング・リバーブを正確に再現したモード。	ラトル・ディケイ	ラトル・レベル
 Dark Spring (ダーク・スプリング)	Fender Deluxe のスプリング・リバーブを正確に再現したモード。	ラトル・ディケイ	ラトル・レベル
 Overdrive Spring (オーバードライブ・スプリング)	1960年代のサーフサウンドを再現したドライブ系スプリング・トーン。	ラトル・ディケイ +レベル	歪み感を強調
Room			
 L.A Studio (LAスタジオ)	西海岸のスタジオルームの響きを再現。初期反射に特徴をもち、ショート・ディケイ・トーンも美しい。	プリ・ディレイ・タイム	アーリー・リフレクション・レベル
Sparkle			
 Sparkle (スパークル)	滑らかなオクターブと長いディケイを持つ個性的なサウンド。	スパークル・レベル	スパークル・タイム
Modulation			
 Modulated (モジュレイテッド)	スムーズさと太さを併せ持った深みのあるモジュレーション・リバーブ。緊張感のある芸術的な響き。	モジュレーション・レイト	モジュレーション・デブス

Mode	モード詳細	Thing 1	Thing 2
 Chorused Reverb (コーラス・リバーブ)	コーラス・サウンドとリバーブサウンドが融合したサウンド。	モジュレーション ・レイト	モジュレーション ・デプス
 Flanged Reverb (フランジャー・リバーブ)	フランジャー・サウンドとリバーブサウンドが融合したサウンド。	モジュレーション ・レイト	モジュレーション ・デプス

Ambient Swell

 Triggered Swell (トリガー・スウェル)	ピックアタックを検出し、リバーブが緩やかに立ちあがります。ペダル・スチールのような音景色を描きます。	Swell タイム (リバーブ音量の立ち上がり時間を調整)	モジュレーション
 Gate Swell with Ovtave (ゲート・スウェル with オクターブ)	ゲートを設定したフェードインするリバーブ・エフェクトにオクターブを追加。滑らかで幻想的なスウェル・サウンド	GATEアタック	オクターブ・アップ ・ボリューム

Delay+Reverb

 Single Tap Delay (シングル・タップ・ディレイ)	ホール・リバーブにディレイを追加したモード。リード・サウンドに最適です。	ディレイ・タイム	フィードバック
 Blend-able Delay (ブレンド・ディレイ)	ディレイ/リバーブ・ブレンド。ディレイタイムはSELECTフットスイッチでタップテンボ入力可能。	ディレイ:リバーブのブレンド	フィードバック
 Filtered Feedback Delay (フィルター・ディレイ)	HiとLowノブがディレイ・フィードバックのフィルター・エフェクトとして機能。	ディレイ・タイム	フィードバック

Reverse

 Reverse with Decay (リバーズ w/ディケイ)	逆回転リバーブとスムーズなディケイのコンビネーション。Swellタイムやモジュレーションも加えられる。	Swell タイム (リバーブ音量の立ち上がり時間を調整)	リバーズ・モジュレーション
 Revers and Stop (リバーズ w0/ディケイ)	逆回転リバーブでディケイコントロールの代わりにプリディレイ、ディフューズを追加	プリ・ディレイ	ディフューズ
 Reversed Delay (リバーズ・ディレイ)	リバーズ・ディレイにリバーブ成分を加えることのできるスペシャルモード。	リバーズ・ディレイの長さ	リバーズディレイへのリバーブ成分のアマウント

Mode	モード詳細	Thing 1	Thing 2
Ghost			
 Resonant (レゾナント)	アグレッシブなレゾナンスを加えた 幽幻的な響きをもつリバーブサウンド	モジュレーション ・レイト	レゾナンス
Lo-Fi			
 50's Radio (1950年代のラジオ)	AMラジオのようなLo-Fiなサウンドを 表現した個性的なリバーブサウンド	ディレイレベル	Dirtiness (Lo-Fi感の調整)
 Warble (ウォーブル)	歪んだようなローファイな揺れ感を加 えたリバーブサウンド。	Warble (揺れ感)	Dirtiness (Lo-Fi感の調整)
Beer			
 Glitch (グリッチ)	ランダムにフィルタリングが変化する グリッチで変態的なサウンド・モード。	Glitch Speed	Glitch Tone
 Gated Reverb (ゲート・リバーブ)	ゲート値を設定し、強く弾いた時だけ リバーブをかけることができるモード	ゲート・スレッシュヨ ルド	ゲート・リリスタ イム(10ms-1sec)



*MODE REFERENCE CHART*では、本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表です。本機はPCからダウンロードしたあたらしいファームウェアをSDカード経由でアップデートし、新たなモードを加えることも可能なため、常に新たなモードを追加することが可能な仕様となっています。

ご注意

上記の“MODE REFERENCE CHART”では、本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表です。本機はPCからダウンロードしたあたらしいファームウェアをSDカード経由でアップデートし、新たなモードを加えられるよう設計されています。*ご購入時点で新しいモード追加がございますので、以下のリファレンスチャートには掲載されていない新しいモードがございます(LEDの色のバリエーションが多い)。「ファームウェアのアップデート」の項をご覧ください。

★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

www.empresseffects.com/reverb-firmware

ファームウェアのアップデート

本機は SD カード経由でファームウェアのアップデートが簡単に実行できるようデザインされています。

このことにより、常に新しいパッチを含んだ最新のファームウェアを取り入れることが可能です。

1、最新のファームウェアを

www.empreffeffects.com/reverb-firmware

からダウンロードします。

2、ファイルを SD カードの root にコピーします。SD カードは FAT32 フォーマットされたものが必要です。

3、SD カードを Empress Reverb のスロットにセットしてから、電源を接続してください。

4、PresetLED が黄色に光った後、アップデートが終了すると、すべての LED が緑色に変わります。

5、SD カードをスロットから抜き、一度電源を落としてから、再度電源を入れることで、アップデート作業は終了です。

SD カードについて

SD カードは必ず V2 High Speed のものをご利用ください。 一般的に以下のようなマークのあるものです。対応していない SD カードでは LED が点滅してエラーを示します。



SD カードには必ずパーティションが 1 つしかない状態にしてください。

ファームウェア・アップグレード時のエラーについて

Preset LED が点滅する場合はエラーとなっています。以下のような場合 LED がエラーを示します。

- 1、不安定なカード
- 2、V1 カード
- 3、V2 スタンダードカード
- 4、ディスクを読むことができません
- 5、有効な FAT ボリュームが SD カードにありません

■ 最新のファームウェアに関する日本語の情報は、弊社のホームページの製品ページからご覧いただけます。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-reverb-firmware.html>

プリセットについて

Reverbには、「スクロール・プリセット・システム」または、「バンク・プリセット・システム」の2タイプのプリセット・システムが用意されています。プリセット・システムは、後記するアドバンス設定で選択可能です。

1,スクロール・プリセット・システム

・スクロール・プリセット・システムの詳細

まず最初に【アドバンス設定】では、希望のプリセットの数を設定できます(後記*アドバンス設定の章をご覧ください)。最大で35プリセット(5プリセット×7バンク)まで希望のプリセット数に設定することが可能です。またプリセット・システムの変更も同じく【アドバンス設定】で行います。後記するアドバンス設定の章を参照してください。

各プリセットはノブの下にある5つのLEDの色と数で視覚的に確認できます。〈Scrollフットスイッチ〉を押すたびにプリセットを切り替えていく事ができます。5つのLEDを通過し、6個目のプリセットに切り替わる際にはLEDの色が変わり次のバンクであることを示します。LEDの色は青(プリセット1~5)→緑(6~10)→赤(11~15)→黄(16~20)→水色(21~25)→紫(26~30)→白(31~35)と切り替わり、最後のプリセットを通過する際には、全てのLEDが点滅した後にLEDの点灯しない状態になります。この状態は「マニュアル・プリセット」で、現在のパネル上のノブの設定が再現されます。もう一度〈Scrollフットスイッチ〉を押すと、最初のバンクに戻ります。

またプリセットのスクロールは、〈Selectフットスイッチ〉と〈Scrollフットスイッチ〉を同時に押すことで、逆にスクロール(戻る)こともできます。

・プリセットの保存(スクロール・プリセット・システムの場合)

現在のセッティングをプリセットに保存するには、まず最初に保存したい希望のプリセットまで〈Scrollフットスイッチ〉でLEDを送ります。LEDが点滅している間に、〈Saveボタン〉(黒い小さいボタン)を**押しながら**、〈Scrollフットスイッチ〉を押します。これでプリセットが保存されます。

・プリセットの呼び出し(スクロール・プリセット・システムの場合)

プリセットを呼び出すには、呼び出したいプリセットまで<Scroll フットスイッチ>で LED を送ります。LED が点滅している間に、<Select フットスイッチ>を押します。これでプリセットが呼び出されます(LED。が点滅から点灯に変わります)。

・プリセットの変更(プリセット/バンク・システム共通)

プリセットを呼び出した後に、ノブの位置を変更した場合は、プリセットを表している LED が少し暗い点灯に変わります(新しい変更は保存されていません)。ノブの位置を保存されているオリジナルのポジションに再度あわせると、LED の点灯は明るくなるので、ノブ位置を変更した後もオリジナルのノブ位置(保存を行った時の状態)に戻ることが可能です。

2,バンク・プリセット・システム

・バンク・プリセット・システムの詳細

まず最初に【アドバンス設定】では、希望のプリセットの数を設定できます(後記*アドバンス設定の章をご覧ください)。

プリセット・システムの変更は【アドバンス設定】で行います。後記するアドバンス設定の章を参照してください。

バンク・プリセット・システムでは、3 つあるフットスイッチ(Select、Scroll、Bypass)でプリセットを切替えます。バンクを切り替えるには<Bypass フットスイッチ>と<Scroll フットスイッチ>を同時に押します(詳細は後記:バンクの変更を参照)。バンクを切り替えると LED の色が変わり、色ごとにバンクを管理する事ができます。

・プリセットの呼び出しとバイパスについて(バンク・プリセット・システムの場合)

プリセットを呼び出すには、3 つあるフットスイッチ(Select、Scroll、Bypass)のいずれかを押します。選択されたフットスイッチの上の LED と、バイパス LED が点灯します。ペダルをバイパスさせたい場合は(Bypass スイッチはプリセットの呼び出し用にしようしていますので)、現在プリセットの LED が点灯しているフットスイッチ(現在呼び出されているプリセット)のフットスイッチをもう一度押してください。バイパス LED が消灯し、Reverb がバイパスされたことを表します。

・バンクの変更(バンク・プリセット・システムの場合)

バンクを変更したい場合は、<Bypass フットスイッチ>と<Scroll フットスイッチ>を同時に押してください。<Select フットスイッチ>と<Scroll フットスイッチ>を同時に押すと LED の色(バンク)を逆向きにトグルすることができます。希望するバンクまでトグルしたら 3 つのいずれかのフットスイッチを押すとプリセットがロードされます。

・プリセットの保存(バンク・プリセット・システムの場合)

現在のセッティングをプリセットに保存するには、まず最初に保存したい希望のバンクの LED を選択し、LED が点滅している間に、<Save ボタン>(黒い小さいボタン)を**押しながら**、<プリセットを保存したいフットスイッチ>を押します。これでプリセットが保存されます。

・プリセットの変更(プリセット/バンク・システム共通)

プリセットを呼び出した後に、ノブの位置を変更した場合は、プリセットを表している LED が少し暗い点灯に変わります(新しい変更は保存されていません)。ノブの位置を保存されているオリジナルのポジションに再度あわせると、LED の点灯は明るくなるので、ノブ位置を変更した後でもオリジナルのノブ位置(保存を行った時の状態)に戻ることが可能です。

コントロールの詳細

Power

9VDC 電源(センターマイナス)で動作します。**必ず 300mA 以上の AC アダプターでご使用ください。**

*本製品は独立した AC アダプタ(または完全アイソレートされたパワーサプライ)をご利用ください。

デジチェーンケーブル(分岐ケーブル)でのご使用はできません。

Mode Selector

左上のノブはロータリー式のエンコーダーとなっており、Reverb の各モードを切り替えることができます。エンコーダーは両方向に回すことができ、回すたびに LED 位置が移動して現在のモードを示します。またモードにサブモードがある場合には LED の色が変わることによってサブモードのタイプを知ることができます。前項のモードのリファレンス・チャートをご覧くださいと分かりやすいと思います。

Decay

decay ノブはリバーブの残響時間の長さを調整できます。

Mix

mix ノブはウェット信号(リバーブ)とドライ信号(原音)のレシオを調整できます。反時計方向廻し切りで 100%ドライ信号、時計方向廻し切りで 100%ウェット信号になります。ウェット 50%、ドライ 50%は約 2 時くらいのノブ位置です。

Output

output ノブで出力ボリュームを調整できます。ユニティーゲインはノブが 12 時の位置です。

Low & Hi

low ノブと hi ノブでリバーブ・トーンをイコライジングすることができます。

Thing1 & Thing2

thing1 ノブと thing2 ノブは、選択されたモードによってそれぞれコントロールするパラメーターが異なります(例えばモジュレーションやアーリー・リフレクション、プリ・ディレイ、ディレイタイムなど)。各モードの解説や、前項モードのリファレンスチャートなどをご参照ください。

Select

Select フットスイッチ(パネル左側のフットスイッチ)は、プリセットの呼び出しを決定する場合に使用します。Scroll フットスイッチで希望のプリセットを選択した後に、この Select フットスイッチを押すと、プリセットを確定して呼び出します。

さらにこのスイッチはプリセットのモードによって、タップスイッチや、リバーブ・ドローン(持続音)を演出する HOLD スイッチとしても機能します。

またこの Select フットスイッチと Scroll フットスイッチを同時に押すと、プリセット(の LED)をスクロールする際に、逆方向に進むことができます。

Save

Save スイッチ(黒い小さなスイッチ)は、プリセットの保存や、エクスプレッション・ペダルのパラメーター・アサインの際に使用します。

【プリセットの保存】

- 1、保存をしたサウンド設定をノブで設定します
- 2、保存したいプリセットに LED をスクロールします
- 3、Save ボタンを押したままの状態
- 4、(Save ボタンを押しながら) Scroll フットスイッチを押します
- 5、Save ボタンと Scroll ボタンから手を離すと保存されます

【エクスプレッション・ペダルの設定】

- 1、エクスプレッションペダルがヒールポジション(かかと側)の時に設定したいノブ位置にあわせませ
- 2、Save ボタンを<長押し>します
- 3、(Save ボタンを押し続けたままで)次にエクスプレッションペダルがトゥポジション(つま先側=踏込んだ状態)の時に設定したいノブ位置にあわせませ
- 4、Save ボタンから指を離します

Scroll

Scroll フットスイッチ(真中のフットスイッチ)は、プリセットを表す LED を移動させるのに使用します。希望のプリセットまで移動したら、Select フットスイッチを踏んで決定します。

Bypass

バイパス・スイッチです。バイパスモードはアドバンス設定で、トゥルーバイパス、バッファードバイパスのいずれにも設定できます。



HOLD 機能を使った演奏について

Empress Reverb にはリバーブ音を持続させることのできる HOLD 機能が装備されています。HOLD 機能はほとんどのプリセットで利用が可能です。リバーブ音を持続させるには Select フットスイッチを押しっぱなしにします。押し続けている間はずっとリバーブ音を持続させることができ、さらにその上に演奏したサウンドを重ねることができます。幻想的なドローン・サウンドに、新しいソロ・フレーズなどを重ねることで、マルチトラックで重ねたような印象的なプレイを可能にします。

コントロール・ポートについて

リアパネルにあるコントロール・ポート(ジャック)には、いくつかのデバイスやソースを接続する事ができます。出荷時にはエクスプレッションペダルを使用できる設定となっておりますが、アドバンス設定(後記)でセッティングすることで、CV(コントロール・ボルトテージ)、タップスイッチ、MIDI デバイスなどを接続する事も可能です。

エクスプレッション・ペダル

モードノブ以外の全てのノブのパラメーターを、エクスプレッション・ペダルを使って同時に動かすことが可能です。複数のノブを希望のレンジで一斉にコントロールすることができるため、たいへんクリエイティブで、ダイナミックなサウンドメイクを可能にしています。

設定はまず、エクスプレッションペダルがヒールポジション(かかと側)の時に設定したいノブ位置をあわせ、その状態で Save ボタンをく長押しします。**Save ボタンは押し続けたままで**、エクスプレッションペダルがトゥポジション(つま先側=踏込んだ状態)の時に設定したいノブ位置にあわせませす。Save ボタンから指を離すと設定は有効になります。複数のパラメーターを設定したい場合には、**この作業を各ノブごとに繰り返して設定してください**。各パラメーターごとにそれぞれのヒール&トゥ・ポジションを設定可能です。

<ご注意> 複数のパラメーター(ノブ)をエクスプレッションペダルに設定する際には、パラメーター(ノブ)を1つずつ設定していく事をお勧めいたします。同時に多くのパラメーターを設定する事も可能ですが、プロセッシング能力を超える情報が一度に送られる場合に、稀にフリーズする可能性があります。

エクスプレッション・ペダルからのコントロールからノブを開放したい場合には、パラメーターをコントロールしているノブを一度動かしてください。ノブを動かすことで、そのノブのパラメーターがエクスプレッション・ペダルから**制御されなくなります**。

仕様できるエクスプレッション・ペダルは、Tip=シグナル、Ring=パワー、Sleeve=グラウンドの、一般的なタイプです。

CV(コントロール・ボルトテージ)

Empress Effects Reverb は、モジュラーシンセサイザーなどの 0-5V の CV 信号からコントロールする事もできます。パラメーターの設定方法はエクスプレッション・ペダルと全く同じですので、前項をご参照ください。

外部タップスイッチ

Empress Effects Reverb は、ノーマリー・オープンまたはノーマリー・クローズの外部スイッチを使用できます。スイッチは Select フットスイッチのオペレートに使用できます(プリセットの確定=ロードには使用できません)。

MIDI

Empress Effects Reverb の全てのパラメーターは、MIDI のコントロール・メッセージからコントロールすることができます。本機で MIDI を使用するには、別売の Empress Effects/ MIDI BOX が必要です。プリセットもプログラム・チェンジ・メッセージでセレクトが可能です。テンポは MIDI クロック・メッセージからコントロールが可能です。

- 1、Empress MIDI BOX(別売)と本機の Control Port を標準(1/4")のパッチケーブルで接続します。MIDI 出力メッセージを送る場合には TRS フォンケーブルが必要です。
- 2、アドバンス設定で MIDI コントロールと MIDI チャンネルの設定を行ってください(後記:アドバンス設定の章を参照)。MIDI チャンネルは他の MIDI 機器がある場合には重ならないように設定してください。

【MIDI からのプリセットの呼び出し(Program Change Message)】

MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを送ることでプリセットをアクティブにすることが可能です。例えば「7」というプログラム・チェンジ・メッセージを送ると、プリセットの 7 番を呼び出します。

【MIDI とプリセット・アウト】

Empress Reverb は、プリセットがロードされる際に、コントロール・ポートのリング端子から MIDI プログラム・チェンジを出力することができます。本機は現在の MIDI チャンネルより上の 4ch をプログラム・チェンジとして送出します。

例えば、もし本機が MIDI チャンネル 5 に設定されていて、プリセット 3 がロードされている時、本機は MIDI チャンネル 6、7、8、9 から、MIDI プログラム・チェンジ 3 を出力します。

【MIDI ビート・クロック】

タップテンポ入力を MIDI クロック・メッセージに反映させることができます。MIDI クロックは 4 分音符で指定され、24 の MIDI メッセージにサブディバイドされます。本機のディレイタイムは 4 分音符単位での設定となります。

【MIDI コントロール・チェンジ】

Empress Reverb は、MIDI コントロール・チェンジ・メッセージからコントロール可能です。以下の MIDI コントロール・チェンジのリファレンスを参照にしてください。

MIDI CONTROL CHANGE MESSAGES REFERENCE

Reverb Parameter	CC #:	Note:
Modes	20	<p>モードとサブモードは数字の0からスタート(HALL=0、Plate=1・・・と続きます)、モードとサブモードを単体の数字であわわず場合は、以下の式に従ってください。</p> <p>MIDIメッセージの値=(Mode × 8) + サブモード</p> <p>例) 2つめのPLATEモードの場合、(1 × 8) + 1 = 9、CCメッセージは9を送ります。</p>
Decay Time	21	<p>ノブが反時計回りに回し切りの状態は値が「0」、ノブが時計回りに回し切りの状態は値が「127」に相当します。</p>
Mix	22	
Volume	23	
Low Damp	24	
Hi Damp	25	
Thing 1	26	
Thing 2	27	
Left Stompswitch -Select	35	<p>値が「64」を送るとスイッチを押した状態をシミュレート、「127」でスイッチを押しこんだままの状態(HOLD)となり、「0」が送られるとスイッチを離れた状態をシミュレートします。</p>
Middle Stompswitch -Scroll	36	
Right Stompswitch -Bypass	37	
SaveButton	38	
MIDI Clock Listener	51	<p>値が「0」を送るとMIDIクロックを無視します。「127」でMIDIクロック・メッセージを受信するようになります。初期設定ではMIDIクロックを受けよう設定されています。</p>

【Additional MIDI Control Change Notes】

- ・本機がアドバンス設定にセットされている時は MIDI スイッチングはできません
- ・マニュアル・プリセットは、バンク・プリセット・システムを使っている場合は使用できません。

アドバンス設定について

アドバンス設定によって、Empress Reverb に多くの機能や可能性を与えることが可能です。バイパスモードの切り替えや、コントロールポートの設定、入力 PAD、プリセット・システムの切替、有効プリセット数、各種 MIDI 設定、ノブのロック機能、信号設定、起動時の設定、ステレオ・イメージの調整、そしてライン出力時にも本物のアンプを鳴らしたようなサウンドを出力できる「キャビネット(スピーカー)・シミュレーター」の機能も追加する事が可能です。

アドバンス設定モードへの入り方

<Select フットスイッチ>と<Bypass フットスイッチ>を**同時に押しながら**、<Save ボタン>を押します。全てのプリセット LED が黄色に数回点滅し、アドバンスモードに入ったことを知らせます。

アドバンス設定モードでの操作方法

<モード LED>は変更できる項目(以下表での“設定項目”欄)を示します。MODE ノブ(ロータリー・エンコーダー)で変更したい LED の位置を選択してください。

セッティングを変更する場合には、**decay ノブ** を使用します。プリセット LED が現在選ばれている値を示しています・

例) モード LED が HALL の場所に点灯している場合は、バイパス・オペレーションの設定を行えます。もしプリセット LED が 1 番目の LED 点灯の場合には「トゥルーバイパス」、2 番目の LED の場合には「バッファード・バイパス」が選ばれている状態です。

アドバンス設定モードを終了する

希望の設定が完了したら、<Select フットスイッチ>と<Bypass フットスイッチ>を**同時に押しください**。変更した設定を保存してアドバンスモードを終了します。プリセット LED が黄色に数回点滅し、アドバンスモードを終了したことを知らせます。本体が再起動するので少しの間お待ちいただいてからご使用ください。

アドバンス設定の設定項目一覧

*は工場出荷時の設定です

設定項目	モード LED	プリセット LED
バイパス・オペレーション	Hall	1、トゥルー・バイパス 2、バッファード・バイパス * 3、バッファード・バイパス w/右チャンネルの出力にのみアイソレーション・トランスを追加 (ステレオオペレーションの設定時)
コントロール・ポート	Plate	1、エクスプレッション・ペダル * 2、コントロール・ポルテージ(CV) 3、ノーマリー・オープン・スイッチ 4、ノーマリー・クローズ・スイッチ 5、MIDI 6、MIDI with プリセット出力
入力PAD	Spring	1、PAD適応なし(0dB) 2、-6dB PAD * 3、-12dB PAD
プリセット・システム	Room	1、スクロール・プリセット・システム * 2、バンク・プリセット・システム
スクロール・プリセット・システムでのプリセット数	Sparkle	希望のプリセット数の位置までプリセットLEDを移動させてください。
バンク・プリセット・システムでのプリセット数	Modulation	希望のプリセット数の位置までプリセットLEDを移動させてください。
MIDIチャンネル *コントロールポートがMIDIに設定されている場合	Ambient Swell	希望のMIDIチャンネルの位置までプリセットLEDを移動させてください。 例)左から3つめのLEDが点灯の場合はMIDIチャンネルは3ch

設定項目	モード LED	プリセット LED
ノブ・ロック	Delay+Reverb	1、ノブをロックしない * 2、ノブをロックする プリセットを選択した時にノブをロックして不意に設定が変わってしまうのを防止します。マニュアル・プリセット時はロックしません。
キャビネット(スピーカー)・シミュレーター	Reverse	1、シミュレーターなし * 2、Bright 4×12キャビネット 3、Dark ピンテージ・キャビネット 4、Balancedモダン・キャビネット
シグナル設定	Ghost	1、ステレオ・イン / ステレオ・アウト * 2、Wet / Dry 左チャンネルからドライ信号、右チャンネルからウェット信号を出力
起動時の設定	Lo-Fi	1、バイパス状態で起動 * 2、プリセット1をロードして起動
ステレオ・イメージの拡がり	Beer	1、通常設定 * 2、ワイド設定 (2dB) 3、ワイド設定 (4dB)

*は工場出荷時の設定です

上記の“アドバンス設定の項目チャート”では、**本マニュアルが作成された時点での各モードの特徴と機能の早見表**です。本機はPCからダウンロードしたあたらしいファームウェアをSDカード経由でアップデートし、新たな機能を加えられるよう設計されています。*ご購入時点ですでに新しい機能の追加がございますので、以下のリファレンスチャートには掲載されていない新しいアドバンス設定項目がございます(LEDの色のバリエーションが多い)。「ファームウェアのアップデート」の項をご覧ください。

★新たに追加されているモードや機能については、以下の「ファームウェア・アップデート」ページに情報を記載しております。

<http://umbrella-company.jp/empress-effects-reverb-firmware.html>

ファクトリー・リセット

この操作を行うと全ての保存した設定やプリセットは失われます！ご注意ください！！

Empress Reverb を工場出荷時の設定に戻したい場合には(全ての設定が失われます)、アドバンス設定に入っている状態で、Select と Bypass フットスイッチを Select → Bypass → Select → Bypass の順番で押します。LED が流れるように動きます。アドバンス設定からでると工場出荷時の状態に戻ります。

SPECIFICATIONS

Input Impedance:	1M Ω
Output Impedance:	100 Ω
Output Impedance (x-former):	600 Ω
Frequency Response(-3dB, dry):	10Hz – 50kHz
Frequency Response(-3dB, wet):	10Hz – 23.4kHz
Total Harmonic Distortion(dry):	0.09%
Total Harmonic Distortion(wet):	0.22%
Dynamic Range (dry):	106.9 dBA
Dynamic Range (wet):	105.5 dBA
Input Headroom (dry):	+10.0 dBu
Input Headroom (wet, no pad):	+0.5 dBu
Input Headroom (wet, 6dB pad):	+5.7 dBu
Input Headroom (wet, 12dB pad):	+10.8 dBu
Output Headroom:	+16.2dBu
Power Input Connector:	2.1mm Barrel Connector
Required Current:	300mA
Height (enclosure only):	1.75"
Height (including controls):	2.25"
Length:	5.7"
Width:	3.75"
Weight:	1.5lbs